



2022年度
特定非営利活動法人
ITサポート銀のかささぎ

短中期実行計画書

はじめに

2021年度は前年度に続く終息の見えない新型コロナウイルスのまん延により、数多くのNPO法人が活動の度に重なる制限や自主規制を余儀なくされる状況にありました。

銀のかささぎも同様に「**学習支援を行いたいが、今までのようにできない。**」本来、このような時だからこそ手を差し伸べたい気持ちがある反面、思うように活動できない。心苦しくもあり、やるせない思いでいっぱいです。世界の情勢に目を向けても、貧困のために生活や勉強する環境が脅かされることを、より強く感じます。

そんな私たちがこの社会情勢に適応し、持続的な支援活動を継続していくために今何をやるべきなのかを考えました。それらをまとめたのがこの実行計画書です。

私たちの実行計画は、**2022年度の私たちの活動を約束する宣言**を形にしています。

なぜ実行計画を公開するのか？

実行計画を公開する理由は2つあります。

1つ目は、前述の通り**銀のかささぎの活動を約束するため**です。本書を公開し、様々な方の目に触れることで、「やらなければ」と自分たちを奮い立たせることが狙いになります。

2つ目は、純粋に**私たちが何をやろうとしているのかを知っていただくため**です。活動報告書のような過去を報告するだけでなく、未来のことを発信したいという私たちの思いによるものです。

本書を通じて、少しでも私たちを身近に感じ、活動への賛同を得られれば幸いです。

銀のかささぎがこれから取り組む実行計画

2022年1月より3カ月間、外部の第三者視点を取り入れた現状分析/市場調査、目標の明確化、戦略策定の検討フェーズを設けた結果、

以下の**5つの戦略カテゴリ**を分類し、**実行計画を立案**しました。

各戦略ごとに短期（2022年度）と中期（2022年度より3年間）で銀のかささぎがどうなっていきたいかをゴールに設定し、そのゴールに向けた実行計画を示しています。



運営体制の
テコ入れ



事業内容の
見直し・拡大



新たな収入源の
獲得



コラボレーション
企画の立案



ブランディング
強化

1 運営体制のテコ入れ

NPO法人銀のかささぎは設立から約9年が経過し、1人でも多くの子供達のために、タブレット端末を通じた学習支援を行うべく現場で奔走してきました。今後の活動の幅を広げていくためにも、これまでの運営方法を見直す必要があると考えました。

- ▶ **短期的ゴール：現在の収支構造の理解と中期戦略を実現する新しい運営体制の構築**
- ▶ **中期的ゴール：認定NPO法人化**

まずは現在の組織における収支構造の可視化・見直しを行い、中長期的な経営計画書の作成を実施します。また組織体制強化を目指し、各メンバーの役割の見直しや新規メンバーを積極的に募集します。

運営体制の振り返りや改善活動によって、これまで表面化されていなかった組織内の課題を洗い出し、今後のアクションをより具体化していきます。また、活動における優先順位をつけることによって、よりインパクトのある組織運営を行っていきます。

2 事業内容の見直し・拡大

銀のかささぎの収益は主に助成金と寄付金で成り立っています。より安定した財源確保のためには、収益構造をバランス化させること、とりわけ事業収入を増やしていくことが課題です。事業内容の把握・課題の洗い出しを行っていくことで、事業収入を改善していきます。

- ▶ **短期的ゴール：委託業務受注拡大による事業収益の改善**
- ▶ **中期的ゴール：既存事業の収益化構造見直しによる事業収益の改善**

最初のアクションとしては、行政および民間企業への働きかけを行い、銀のかささぎの事業内容を活かす形での委託業務の受注につなげていきます。次に、既存事業における収益化を行っていくことで事業収益を段階的に増やしていきます。

3 新たな収入源の獲得

これまでは収入源のバリエーションが乏しく、計画的かつ安定的に活動資金を調達することができていませんでした。今後を見据えた活動の拡大や運営の安定化のためにも、既存の収入源だけではなく、新規の収入源の獲得にもチャレンジすべきだと考えました。

- ▶ **短期的ゴール：公募制の基金等の情報収集に注力し、助成金・ふるさと納税に申請**
- ▶ **中期的ゴール：組織体制の強化後に、クラウドファンディングに挑戦**

採択される可能性が高い助成金や基金等の情報をリサーチし、適切なタイミングで適切な収入源に申請するための計画を立案していきます。その最初のステップとして、助成金やふるさと納税への申請および申請プロセスの振り返りを行っていきます。

資金源の増加により、活動をより安定して行うことが可能となります。また各申請の振り返りを通じて、銀のかささぎ内にノウハウが蓄積され、より鮮明な事業計画を描くことができるようになっていきます。

4 コラボレーション企画の立案



これまでは銀のかささぎの取り組みを広げるための活動として、講演会開催やイベントへの参加を行ってきました。しかし、近年のコロナ禍の影響もあり、定期的にイベントを開催することができない状況が続いています。今後は長野県内における横のつながりを強化していくことで情報発信力を高め、官民の関係者と協力しながらイベントの周知や定期開催につなげていきたいと考えています。

- **短期的ゴール：年内の企業または他NPO団体とのコラボレーションイベント開催**
- **中期的ゴール：企業・行政を問わない複数の団体との協力関係の確立および定期的なイベントの開催**



コラボレーションイベントの開催に先立ち、まずは自団体との相乗効果が期待できる団体・企業・行政をリサーチし、より効果的な協働先を選定します。実際のイベント企画・実施・振り返りを通して、継続的なイベント開催のノウハウを蓄積していきます。これらを継続して実施していくことで、より多くの人々に銀のかささぎの取り組みを知っていただき、行政や企業から事業を受託する機会につなげることが可能だと考えております。

5 ブランディング強化

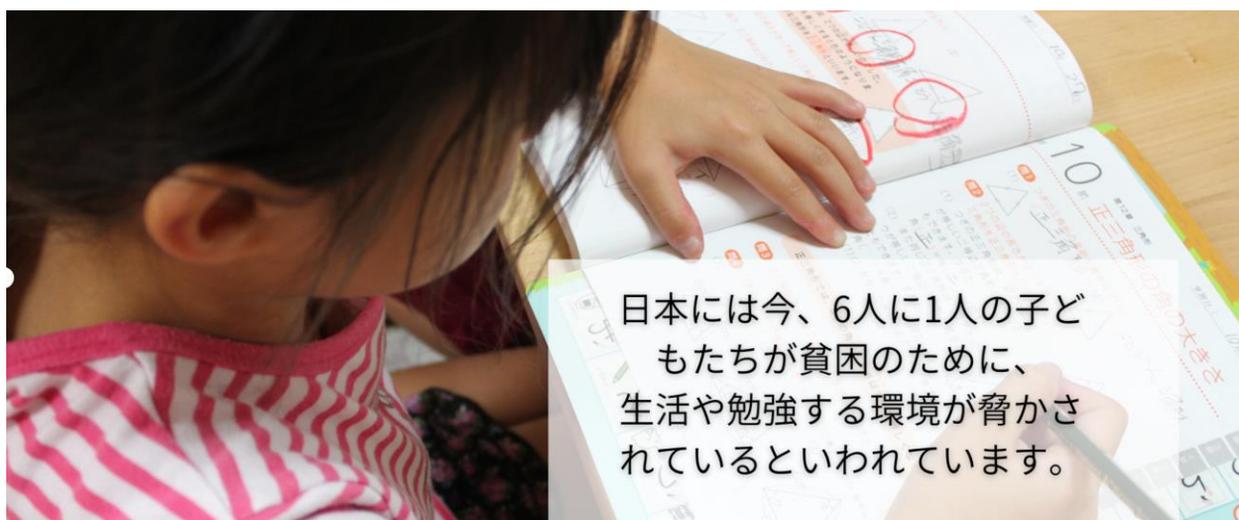


銀のかささぎの認知度の底上げを図ってブランディング強化を行います。オンラインとオフライン両方の手段を通して、活動内容を対外に積極的に発信していくことで、事業への理解やご支援および事業機会につなげていきたいと考えております。

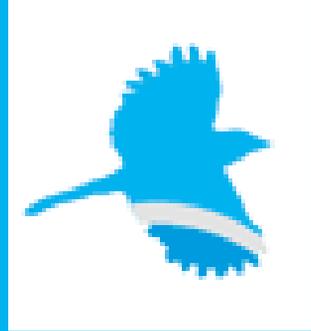
- **短期的ゴール：既存のオンラインツールの活用方法見直しによる認知度の向上**
- **中期的ゴール：新規ツールの活用やオフライン活動を通じた新たな事業機会の創出**

短期的には銀のかささぎで実際に利用しているオンラインツールにおいて、最適な発信方法(更新頻度や発信内容等)を見直し、私たちの情報をよりオープンにしていくことで認知度の向上を目指します。

中期的には新規ツールを活用し、講演会等のオフライン活動を再開することで、銀のかささぎの活動をより深く理解していただき、ご支援をいただく機会を増やしていきます。



日本には今、6人に1人の子どもたちが貧困のために、生活や勉強する環境が脅かされているといわれています。



特定非営利活動法人 ITサポート銀のかささぎ

住所 : 〒381-2221 長野県長野市川中島町御厨1597
TEL : 050-3009-1924
FAX : 026-273-3061
URL : <https://www.i-kasasagi.com/>
Email : info@i-kasasagi.org



特定非営利活動法人 ITサポート銀のかささぎ

住所 : 〒381-2221 長野県長野市川中島町御厨1597
TEL : 050-3009-1924
FAX : 026-273-3061
URL : <https://www.i-kasasagi.com/>
Email : info@i-kasasagi.org